

2月号 2024年2月23日発行 No.249

運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や経営・活動に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

2024年2月4回(2月26日の週)配達分より、宅配手数料を見直します

この間、組合員のみなさまにご負担がかからないように宅配手数料を維持してまいりましたが、宅配業界における人手不足の状況が非常に厳しく、また、昨今のエネルギー高騰(電気料金・燃料費)によりコストが大幅に上昇しています。業務効率の改善や経費削減などの努力を行ってまいりましたが、安定した宅配サービスの維持が困難な状況となっており宅配手数料の見直しをさせていただくことになりました。

今後も、より一層みなさまに満足いただけるようなサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆宅配手数料(1回利用につき)



◆宅配手数料はご利用金額と利用人数で変動します

(※グループで1人のみが利用した場合は、個人宅配と同じ宅配手数料となります)

個人宅配	ご利用金額(税込)	宅配手数料	グループ宅配	ご利用金額(税込) (各個人の利用金額です)	宅配手数料	
	6,000円未満の場合	165円(税込)		6,000円未満の場合	1人利用	2人以上利用
	6,000円以上の場合	110円(税込)		6,000円以上の場合	165円(税込)	55円(税込)※
	10,000円以上の場合	55円(税込)		10,000円以上の場合	110円(税込)	0円
						0円
			※現状2人以上のご利用は無料でしたが、見直し後は6,000円未満のご利用の場合、宅配手数料がかかります。			

◆宅配手数料の控除制度があります (控除には各種証明書類が必要になります)

①すくすくサポート

- ・同一世帯に小学校へ入学される前のお子さんがある家庭。
(妊娠中の方も対象です)

②いきいきサポート

- ・65歳以上のみの世帯。
- ・本人もしくは同居のご家族が要支援、介護認定を受けている家庭。
- ・本人もしくは同居のご家族に障がい(身体・精神・知的)を持っている方がいる家庭。

③被災者サポート

天災などで富山県内に避難されている方 ※期間はお申し込みから1年間となります。

(富山県内で令和6年能登半島地震に被災され、県内の自宅以外に臨時的に生活をされている方も対象)



【目次】

- 1、2024年2月4回(2月26日の週)配達分より、宅配手数料を見直します 表紙
- 2、重点課題で取り組んだこと P 2
- 3、総代の皆様からいただいた声の一部をご紹介します P 2
- 4、理事会だより、経営実績報告、12月度事業別実績報告 P 3
- 5、令和6年能登半島地震支援報告 P 4

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>

富山市金屋555

フリーダイヤル

☎：0120-555-192

発行：経営企画G



とやませいぎょう

重点課題で取り組んだこと

とやま生協では総代の皆さんと総代会で確認した方針に基づき、重点課題を設けて取り組んでいます。

職員の成長と安定した経営(12月)

・介護サービスアンケート実施結果報告

今回のアンケートは、サービスの質の向上と統一を目的とした「生協10の基本ケア」の実践や、前回アンケートで抽出した課題に対する対応が、利用者や介護支援専門員にどのように評価されているのかを検証することを目的に実施しました。

皆さまから多く頂いた「評価」結果の一部をご報告いたします。

職員の接遇について



職員の接遇、身だしなみについて(実際に頂いた声)

- ・送迎時の時スロープを出したり、片付けたり、挨拶や言葉遣い等もきちんとされ、いつも感謝しています。
- ・いつもきちんとしておられ、さわやかさを感じます。
- ・どの職員も笑顔で対応して下さいます。頑固な母への対応も気長に待ったり、タイミングをずらしたりとうまく関わってもらっています。

職員の印象・雰囲気について



サービスご利用時の職員の雰囲気について

- ・近くの席の方がトイレに行きたそうだったので、私が代わりに知らせあげようと職員さんに手を挙げるとすぐに来てくれました。とても気持ちが良いです。
- ・職員の方とは気軽に会話が出来ます。
- ・何でも聞いてくれます。

サービス満足度



ご希望やご要望に沿った計画書について

- ・本人がショートステイから元気に家に戻ってきたので、こちらの希望通りに行ってもらえたと思っています。
- ・状況に応じた対応をしていただいております。
- ・事前に自分の計画を聞いてくれます。

総代の皆様からいただいた声の一部をご紹介します

いただいた声

春3月で大山地域会の委員長を卒業することとなりました。
2007年より引き受けて随分長く引き受けていたんだと、改めて感謝でいっぱいとなりました。
大山の方々と生協以外でも旅行へ行ったり、食事に行ったりとても楽しく過ごせた17年間でした。
そしてたくさんの方々の職員や組合員の方に出会えたことも私の人生のプラスになりました。
大山の方々とはいまたこれからも楽しく会えますが、私を支えてくれたことに改めて感謝したいと思います。



eフレンズを利用しています。
いつも配達完了のお知らせが入ってきて、グループ配達ですので無駄足に何度も見に行くことがなく、
時間が有効に使えます。



◇話し合われたこと

- (特別確認事項)

1. 令和6年能登半島地震対応報告
- (主な協議事項)

1. 2024年度基調方針（2次案）の件
- (承認事項)

1. 2023年度12月度の事業・活動および経営報告の件
2. 第3回通常総代会開催要項の件
3. コープ共済連臨時総会議決判断の件
4. 生協役員賠償責任保険の加入(契約更新)の件
- (主な確認事項)

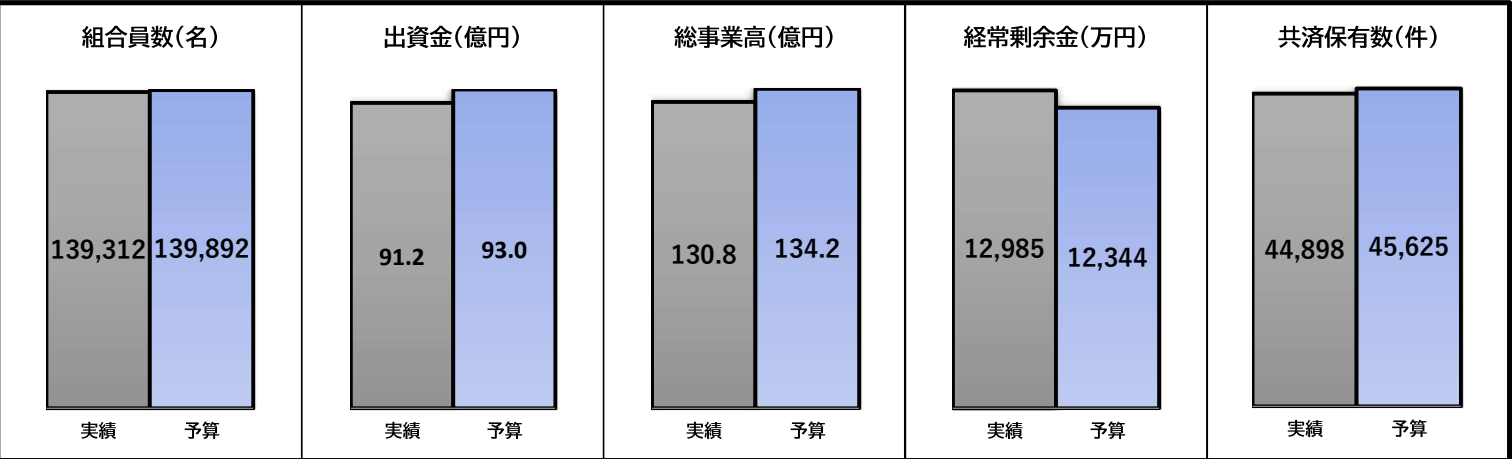
1. 機関運営・連帯関連報告

◇12月度 事業・経営報告

- (全体経営報告)
- ・総事業高は19億6,183万円で、予算比 99%、予算差－9,673万円です。
 - ・経常剰余金は1億5,040万円で、予算差＋2,343万円の実績です。
- (機関運営、組合員活動報告等)
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に129名が参加、34の地域会で11回・94名、せいきょうクラブ8回で53名の参加がありました。
 - ・主な活動では、福島視察交流ツアーに22名の参加がありました。

◇2023年度 事業・経営実績累計

組合員数	組合員の総数	経常剰余金	事業活動で得た収入とかなかった費用に事業外での損益を加えた事業活動による最終利益
出資金	お預かりしている出資金の総額	共済保有件数	ご契約いただいている「たすけあい」「あいづらす」「ずっとあい」の総数
総事業高	事業高の総額		



12月度事業別実績報告

《宅配事業》12月1回から12月4回企画					《生活支援事業》12月1回から12月4回企画				
利用形態		単位	実績	予算比	利用形態		単位	実績	予算比
宅配事業	利用人数計※1	人	250,150	97%	生活支援事業	夕食宅配	食数	57,455	106%
	利用金額※2	円/人	6,865	102%		介護療養食	食数	4,625	97%
《福祉事業》12月度サービスご利用報告					《みなみ店》12月度				
サービス			実績	予算比	利用形態		単位	実績	予算比
デイ	延べ人数	人	519	87%	みなみ店	供給高	千円	21,449	107%
ショート			499	115%		来店人数	人	9,927	106%
障がい者			245	111%	移動店舗	供給高	千円	2,335	73%
訪問	提供時間	時間	791	101%		来店人数	人	1,328	74%
小規模	登録人数※3	人	73	106%					

※1 12月1回～4回企画の合計利用人数です。
※2 1企画当たりの利用金額です。
※3 利用人数のことです。



令和6年能登半島地震支援報告

◆コープいしかわへの支援①

実施日：1月15日(月)～2月2日(金)
場所：とやま生協の施設内
支援者：とやま生協職員 合計30名
対象者：コープいしかわ組合員 約900名

支援内容：

のと北部センターの穴水町、能登町の組合員の安否確認および、生協利用が可能なかどうかの聞き取りの電話がけを行いました。

地域によって被害の状況も違うようで、電話自体がつかない(機器の不良、回線の問題と思われる)方も多くおられました。



◆コープいしかわへの支援②

実施日：2月12日(月)～4月5日(金)
場所：コープいしかわ
支援者：とやま生協職員 合計17名

支援内容：

とやま生協の職員をコープいしかわの配送担当の代走要員として派遣しています。

コープいしかわの職員が地震被害の大きなエリアの支援に集中できるように、通常配送のコースの代走として全国の生協職員とペア配送を行っています。

2月11日(日)とやま生協の代表として、石川へ行く職員の激励・見送りを目的に出発式を開催しました。



1/29 組合員宅訪問



明日の暮らし、ささえあう
CO-OP 共済

◆共済契約者への支援・訪問

実施日：1月29日(月)～2月9日(金)
場所：高岡市伏木エリア、氷見市エリア
支援者：とやま生協職員、全国の生協職員、コープ共済連 (のべ51名)

支援内容：

2月2日(金)まではコープ共済連職員と高岡市伏木地区の組合員宅300世帯を訪問し、被害状況の確認と異常災害見舞金の申請手続きを行いました。

2月5日(月)からは全国の生協職員支援者にも入っていた、氷見市エリア733世帯の組合員宅のお見舞い訪問活動を行いました。

不在組合員宅へは置手紙を残し、ハガキ・ショートメールにてご案内しています。



全国生協からの支援職員

◆氷見ボランティア報告

実施日：2024年1月20日(土)・21日(日)
1月27日(土)・28日(日)
場所：氷見市ボランティアセンター
参加者：とやま生協職員 計16名

活動内容：

全国の社会福祉協議会から応援に来ていた職員の方と一緒に、ボランティアセンターの運営支援と人員が不足しているボランティアの現場支援を行いました。

①ボランティアセンター運営支援

- ・ボランティアの誘導
- ・機材の貸出し・洗浄、返却の点検

②現場支援

- ・液状化した土砂を土のう袋に入れて撤去
- ・災害ごみ仮置き場で土のう袋に入った土砂の袋出し

